

症例
ライブラリー

危機管理「発災」

無術中、地震や火災が発生することは滅多にないことだが、万が一発生した場合、どのように対応するかを発災してから考えたのでは遅きに失する。傷病者が多数押し寄せてきてからトリアージを考えたのでは、救える命も救えなくなるかもしれない。

本症例ライブラリーでは、実際の災害から学ぶべく、人工血管置換術中の地震、人工心肺中の突然の停電、大規模地震直後の grade A 帝王切開、近隣の鉄道災害、術中火災の五つの症例を提示していただいた。まずは症例だけを読み、自分ならどうするかを考えてほしい。すなわち、誌上シミュレーションを実行するのである。同じ災害でも、昼間なのか夜中なのか、夏なのか冬なのか、平日なのか休日なのかで状況は変わり、正解は一つとは限らない。まずは提示された状況から、自分で考えることが重要である。そして自分の考えが整理できたら読み進め、エキスパートたちが、災害の原理原則や豊富な知識からどのような事態を想定し準備をしているかを吸収してほしい。さらに、周りの麻酔科医や手術部看護師、臨床工学技士ら巻き込み、災害シミュレーションを実行していただけたら本望である。

9a ロダンH 東北大学病院 手術部・材料部 江島 豊 13a ロダンB

◆まとめ・BCPとは試験対策である??

◆いつもの手術中、近隣で大規模列車事故との報が入った

ここは地域の中核病院。病床数は600床ですべての科がそろっており、手術室は8床である。本日は平日の午前10時。麻酔科部長は出張中で、若くして麻酔……

◆大規模地震直後、グレードAの帝王切開が申し込まれた

29歳の女性。1妊0産。身長165cm、体重81kg。(BMI 29.8 kg/m²)。妊娠36週6日。腹部緊満感で、安静入院中である。血圧128/75mmHg 97%で……

◆手術中、術野から突然火の手が上がった…

64歳の男性。身長164cm、体重72kg。腹部大動脈瘤切迫破裂に対して緊急Yグラフト術中、突然術野から火の手があがり、一面が火の海になった。さて、……

◆手術中に突然電源が喪失した!? 手術室における停電対策

某大病院の8番手術室。78歳の男性。身長168cm、体重55kg。大動脈弁狭窄(AS)に対して、大動脈弁置換術を施行中。機械弁による人工弁置換術が順調……

◆Yグラフト置換術中に震度6の地震

78歳の男性。身長168cm、体重74kg。腹部大動脈瘤に対してYグラフト置換術を実施中。大動脈遮断前に震度6強の地震が発生した。内陸の大病院で建物……

38

34

31

26

20

16

各項のキーワード

以下は掲載順ではありません。
それぞれの症例で何が起こったのか考えながら読んでください

- 無停電非常電源、自家発電、In situ シミュレーション
- CSCATTT、トリアージ、多数傷病者事故(MCI)、job action card (JAC)
- インフラ障害、出張麻酔、シミュレーション
- 震度6、耐震性能、情報共有、救急患者受け入れ、断水、人員確保、術後搬送先
- 手術室火災、消火活動、消火器